

シリーズ

大阪壊し 橋下流

維新政治を問う

④デリバリーで全員給食

7割超える生徒 給食を食べ残し

「冷えきったお肉の油が白く固まっている」「髪の毛やつけまつげがおかずに付いていた」——中学生の子どもを持つ大阪市の母親が、友人から聞いた話です。

「給食をまったく食べないこともあるという生徒や、空腹のままクラブ活動をするという生徒もいます。育ち盛りの子どもたちにそんな思いをさせていいはずがありません。」

問題が多すぎる デリバリー給食

「中学校給食は保護者みんなの切実な願いです。誰一人として『反対』なんて思いません。」

方針を打ち出したので「これで足りるのかと驚いた」と言います。



本校調理で栄養価の高い中学校給食を (写真は府内公立中学校の給食)

「ほとんど食べない」3割も

昨年6月、大阪市は市内全128校の生徒約2万5千人を対象にアンケート調査を実施。それによると、給食を「全部食べている」と答えた生徒は10・8%に過ぎず、「ほとんど食べていない」は29・0%、「少しだけ食べている」は18・2%、「半分くらい食べている」が26・2%で、計73・4%が給食を食べ残している実態が浮き彫りになりました。

大阪市の生徒アンケート

課題を尋ねる設問では、生徒9702人は、生徒9702人(43・9%)が「味の改善」を求め、6634人(30%)が「温かいおかずの提供」を挙げました。

豊かな学び保障 する中学給食を

とめによると、デリバリー方式を導入するのは政令指定都市の大阪、堺2市を含め17市町、このうち10自治体が希望者だけの選択式です。

導入促進事業を 創設したものの

中学校給食は、「子どもが笑う大阪に」と橋下市長が府知事時代から掲げてきた肝煎り政策の1つ。全国最低だった府内公立中学校の給食実施率を改善しようと、2011年度から5年計画で、未実施の市町村に初期投資を補助する「導入促進事業」を創設しました。

「家庭の事情で弁当を持参できずお腹を空かした子どもがいるのは、とてもつらいことです。学校給食は教育の一環。おいしいね」とみんな笑顔になって心身の成長につながるような豊かな学びを保障する給食にな

給食と呼べるものではない

大阪市は昨年4月から、それまで選択式だったデリバリー方式の学校給食を、中学1年生全員に導入しました。民間業者が調理・配送するものですが、「おかずが冷たい」などの理由で、7割を超える生徒が食べ残しています。

「中学生たちが健やかに成長できるよう豊かな給食であってほしいと思います」というのは、学校見学で実際に生徒と一緒にデリバリー弁当を試食した女性。メインのおかずは麻婆豆腐でしたが豆腐が冷たくて固く、魚

でもデリバリー式には問題が多すぎます。大阪市都島区の1年女子の保護者が語る、別の生徒の母親も「大阪市はずっと愛情弁当だと言って、給食の実施を否定してきました。やるなら小学校と同じような自校式にしてほしい。デリバリーと聞いて、ママ友みんな『エ〜』とがっかりです。」

衛生面での問題 やコスト削減で

2年生の長男には、卒業まで手作り弁当を持たせるつもりだと言いました。調理業務が始まり、学校給食をイメージしていたという母親はそう語り、

中学校給食を調理・配送するのは大阪、大東、東大阪、松原各市の民間事業者ですが、市内4つに分けられた各ブロックごとに数千食の弁当を完成させるため、深夜から回収した使用済み給食容

ある関係者によると、回収した使用済み給食容器が不十分や保管設備などが不十分なまま、複数の給食調理事業者が「見切り発車」したとの指摘もありま

「献立は市教委がつくるが、食材買い付けは業者が行います。これが問題で、コストを下げるために、『B級・C級』と呼ばれる食材が使われることもある」と告発しま

大阪府教育委員会のま